

丸の内会場  
+ オンライン  
同時開催!事業ポートフォリオマネジメントと  
資本コスト経営の実践

～コーポレートガバナンス・コードが求める取締役会の役割～

日時

2022年7月21日(木) 11:30～13:30 (受付開始 11:00)

※ オンラインは 11:50 開始となります。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会場参加  
(昼食付き)

:会員 3,000 円 / 一般 6,000 円 (税込・当日、会場にてお支払いください)

オンライン

:会員 2,000 円 / 一般 3,000 円 (税込・オンライン決済でお支払いください)

経営環境の激変を背景に、持続的な企業価値の向上を実現するための経営資源の最適配分が重要課題となる中、取締役会に求められる役割も大きく変わりつつあります。

昨年公表された改訂コーポレートガバナンス・コードには、経営戦略等の策定・公表に当たり、事業ポートフォリオに関する基本的な方針および見直しの状況について分かりやすく示すべきであること、取締役会は事業ポートフォリオ戦略の実施状況について経営陣に対して実効的に監督すべきであることが記載されました。

事業ポートフォリオマネジメントにおいては、事業別の将来の資本収益性分析や企業価値評価は、全ての取締役が理解し、考察と検証を行うことが求められます。「よく知らないことは外部に委託する」という受け身の姿勢ではなく、取締役会が先導しながら、社内で重要事項に関する分析を簡便かつ能動的に行うことが必要となるのです。

今回のセミナーでは、事業ポートフォリオマネジメントとそれを実践するための取締役会の対応について解説していただくこととなりました。また、これらを実現する最先端のツールの活用方法についてもご説明いただきます。

経営に関わる全ての皆様にお聴きいただきたい注目のトピックスです。是非ご参加ください。

講師

神崎 清志(かんざき きよし)氏

株式会社クレジット・プライシング・コーポレーション  
プリンシパル / 経営学博士

東京大学工学部卒。東京大学大学院 工学系研究科工学修士。首都大学東京大学院 経営学博士。株式会社日本長期信用銀行にて、デリバティブ商品開発に従事。野村証券金融研究所、AIFAM アセットマネジメントなどを経て 2009 年より現職。金融商品バリュエーション、金融モデリング、リスク管理モデル開発など、一貫してクオンツ系業務に従事する。

【著書】本年 2 月に、松田千恵子氏との共著「事業ポートフォリオマネジメント入門 ー資本コスト経営の理論と実践」(中央経済社)を出版。



お申込み

会場・オンラインそれぞれお申し込み方法が異なります。詳細はご案内メールにてご確認ください。

メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 [seminar@icgj.org](mailto:seminar@icgj.org)

## 会場のご案内

会場 **AP 東京丸の内**

住所 東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階  
Tel: 03-5224-5109

交通 JR・丸ノ内線「東京駅」／丸の内線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」から徒歩約4分  
都営三田線「大手町駅」D6出口直結



主催

ICGJ

一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会

ウェブサイト: [www.icgj.org](http://www.icgj.org) | Mail: [contact@icgj.org](mailto:contact@icgj.org) | Tel: 03-3539-3208

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 3F